



十和田市

議会だより

第54号

平成30年5月1日発行

3月定例会号

目次

- ◆ 平成30年度予算関係・・・・・・・・・・ 2
- ◆ 議案審議の状況・・・・・・・・・・ 4
- ◆ 一般質問・・・・・・・・・・ 5
- ◆ 視察報告、請願等の状況
所管事務調査報告など・・・・・・・・・・ 11
- ◆ 市議会・市民との意見交換会のお知らせ・・ 12



祖先の生き方に思いをはせて
国指定重要文化財旧笠石家住宅

発行／十和田市議会

編集／議会だより編集委員会

〒034-8615 青森県十和田市西十二番町6番1号
TEL (0176) 51-6781 FAX (0176) 25-0726

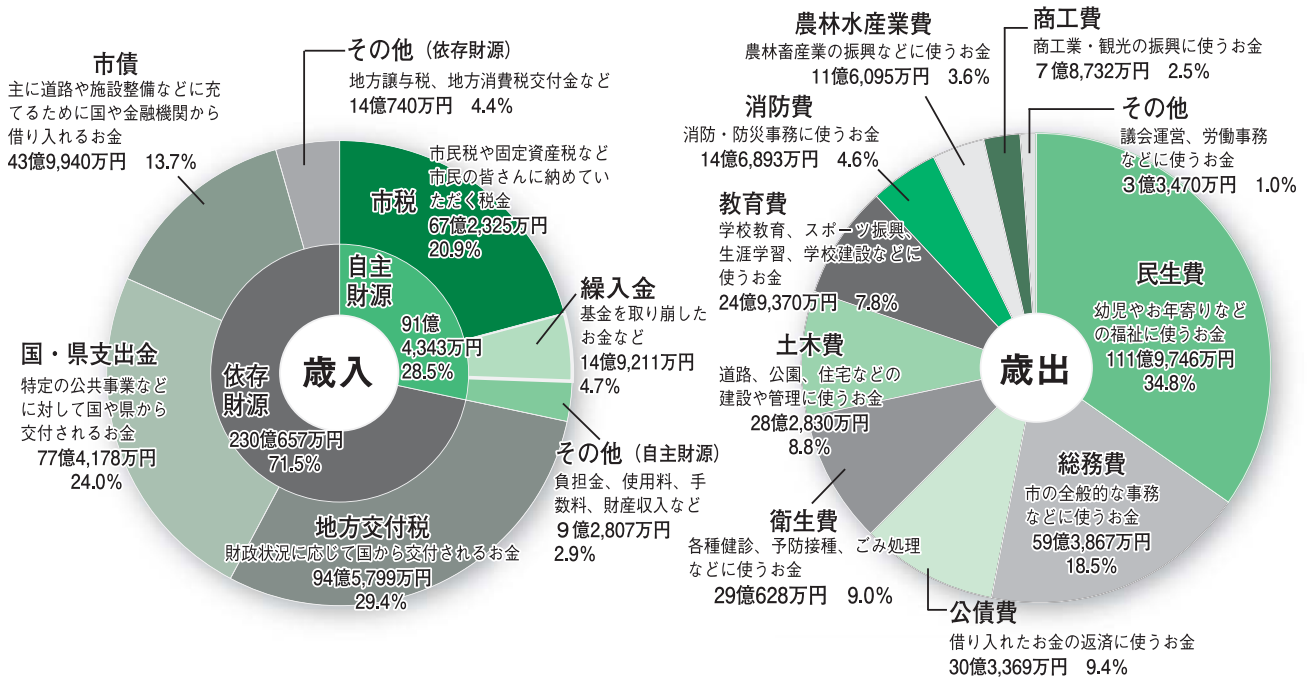
ホームページ <http://www.city.towada.lg.jp/bunya/sigikai/>
E-mail gikai@city.towada.lg.jp

十和田市議会 検索

一般会計当初予算321億5千万円を可決

全議員で構成される予算審査特別委員会の場で一般会計、特別会計、企業会計の各予算を審査し、原案のとおり可決すべきものと決定しました。一般会計当初予算は、大規模建設事業等の増加に伴い、前年度比7.3%増の321億5千万円となりました。

一般会計当初予算の内訳（1万円未満は四捨五入）



市民の声が市政に届けられました

市民の代表である議員が、一般質問等で取り上げたことが予算に反映されています。

十和田湖温泉郷引湯管更新事業

経年劣化により更新の時期を迎えている猿倉温泉の源泉から十和田湖温泉郷までの引湯管について、新たに敷設するための測量・概略設計業務を実施します。

…議員は、焼山地区の活性化のため早期の更新を訴えました。

同報系防災行政無線整備事業

自然災害や武力攻撃等への対応のため、情報伝達手段として同報系防災行政無線を市全域に整備するための実施設計を行います。

…議員は、有事の際の市民への情報伝達体制の拡充を訴えました。

幼児の発達支援事業

保健センターを拠点に「幼児発達支援センター」を開設し、心理判定員及びことばの発達相談員等による発達を促す指導を行います。

…議員は、発達障害が疑われる児童生徒の増加に対する体制の強化を訴えました。

(仮称) 志道館建設事業

築四十年以上経過しており、耐震補強したものの老朽化が著しい志道館について、改築工事の実施に係る基本構想を策定します。

…議員は、市民にきちんと説明し、意見聴取しながら整備することを訴えました。

他にも多くの事業に市民の声が届いています。



志道館は建てかえに

主な質疑応答

一般会計

質問 保育料収入の減額理由は。

答弁 二つの保育所が認定こども園に移行し、保育料が直接施設に入ることになるためです。

質問 市街地循環バス実証運行事業の期間が三カ月では短いのでは。

答弁 職員が聞き取りするなど、さまざまな方法を用いて有効なデータが得られるよう努めます。

質問 移住・定住支援のための住宅取得・改修補助事業の増額理由は。

答弁 平成三十年度から、中古住宅の購入・改修への補助対象者に、定住自立圏内からの転入者を加えるためです。

質問 婚活支援事業補助の内容は。

答弁 結婚希望者に出会いの場を提供する事業や、異性とのコミュニケーション力向上に寄与す

る事業を行う団体に、事業費の一部を補助します。

質問 公民館がコミュニティセンターにかかわることで市民への影響は。

答弁 利用者に迷惑がかからないよう早めに周知して対応します。

質問 元気な十和田市づくり市民活動事業の減額理由は。

答弁 申請者数が減少しているためです。

質問 女性の活躍支援事業の実施状況は。

答弁 託児付きのセミナーを開催し、平成二十八年は全五回で参加実人数二十二名、託児実人数三名、二十九年度は全四回で参加実人数二十二名、託児実人数三名でした。

質問 職業能力開発校の今後の運営は。

答弁 生徒数が少ないため、他の訓練校等と協議しながら対応します。

質問 移住・定住就業支援事業の内容は。

答弁 市外の方が移住・定住して就業しやすくなるよう、家賃や住宅改修の補助、技術指導等の支援をします。

質問 にんにく日本一確立支援事業の目的は。

答弁 作付面積日本一という地位を維持し、質的にも田子町に負けないようブランド化を図っていききたいと考えています。

質問 鳥獣被害対策実施隊員報酬の増額理由は。

答弁 増大しているツキノワグマやカワウの被害に対応するためです。

質問 インバウンド対策事業として多言語観光パンフレットの増刷をするようだが、環境保護対策として、奥入瀬溪流立ち入り禁止区域等を明記しては。

答弁 増刷段階で記載内容を見直すときに検討します。

質問 同報系防災行政無線は市全域で聞こえるようになるのか。

答弁 そのように整備したいと考えています。

質問 外国語指導助手を二名増やして八名にするようだが、まだ少ないのでは。

答弁 訪問学級数が九十四から百三十学級に増えますが、八名で十分な指導が可能と考えます。

質問 平成三十年度の小中学校のトイレ洋式化の計画は。

答弁 計十基改修する予定です。なお平成二十九年十一月時点の洋式化率は小学校四二・八％、中学校二五・七％です。

質問 小中学校の就学援助費の支給を四月ではなく三月にできないか。

答弁 平成三十一年三月から実施したいと考えています。

特別会計

(国民健康保険事業)

質問 国民健康保険保険者努力支援金の内容は。

答弁 特定検診の受診率、糖尿病等の重症化予防、医療費通知の取り組み、保険税収納率の向上等の評価指標をもとに市に交付されるものです。

(後期高齢者医療)

質問 糖尿病治療中断者受診勧奨事業における対象者の把握方法は。

答弁 医療機関からの診療報酬明細書と特定健康診査特定保健指導等の記録をもとに把握します。

企業会計

(病院事業)

質問 院内保育所収益が減少した理由は。

答弁 入所者数が少ないためです。出産数の減少と、保育対象が三歳頃までなので他の保育所が利用される場合があることが要因と考えます。

3月定例会

— 議案審議の状況 —

平成30年第1回定例会は、2月28日から23日間の会期で開かれました。十和田市コミュニティセンター条例の制定を初め、議案39件（議員提出議案5件含む）、報告2件、同意1件が上程され、原案のとおり可決されました。

十和田市コミュニティセンター条例の制定

地域住民によるコミュニティ活動の場、市民の生涯学習の場等を提供するため、南公民館と東公民館の用途を拡充し、コミュニティセンターとして位置づけるためのもの

主な質疑

Q 十和田湖公民館をコミュニティセンターにしない理由は。

A 公共施設個別管理計画で解体予定となっているため外しています。

Q 指定管理を導入する予定は。

A 現時点では決まっていますが、今後検討されるべき課題であると考えています。

十和田市中小企業振興基本条例の制定

中小企業の振興を市政の重要な柱として位置づけ、商工団体等の役割、相互の協働など、中小企業の振興に関する基本的な事項を定めるためのもの

主な質疑

Q 「条例の目的を達成するため、情報交換会を開催するとともに、その他必要な措置を講ずるよう努める」とあるが、今後どのように進めていくのか。

A 情報交換会の具体的な内容はこれから考えていきます。その他必要な措置についても、市の施策だけではなく、さまざまな関係者との役割を踏まえて考えていきます。

十和田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税額の算定の方法を改正するためのもの

主な質疑

Q 算定方法が変わったことで課税額はどうか。

A 課税額に変わりはありません。

その他可決した主な議案

◇十和田市空家等対策協議会条例の制定

（空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家等対策計画の作成や変更、実施に関する協議を行うため、十和田市空家等対策協議会を設置するためのもの）

◇十和田市企業立地奨励条例の一部を改正する条例の制定

（より積極的に企業誘致を推進し、地域経済活力の維持増進と雇用機会の拡大を図るため、工場等の新設や増設をする事業者に対する立地奨励金の増額等をするためのもの）

◇十和田市教育委員会委員の任命

（平成30年3月28日をもって任期満了となる大友美千代氏の後任として^{ふかせいくこ}深瀬郁子氏を任命）

議会改革特別委員会設置 ～ さらなる改革を目指し ～

十和田市ひらかれた議会づくり基本条例制定から3年が経過したことから、これまでの取り組みを振り返り、今後改革すべき事項等を整理し、議会改革をさらに推進するため、下記委員で構成する議会改革特別委員会が設置されました。

委員長 堰野端 展雄 副委員長 畑山 親弘 委員 山端 博 委員 久慈 年和
委員 石橋 義雄 委員 小川 洋平 委員 戸来 伝



櫻田 百合子
(市民連合クラブ)

成人式を充実させるための

取り組みは

今後も実行委員会を支援したい

議員 成人式はどのよ

うなボランティア団体に
支えられているか。また
成人式をより充実させる
ために、どのように取り
組んでいくか。

教育部長 ことしの成人

式では、第二部のアトラ
クションの企画・実施の
主体となった八名の成人
式実行委員会をはじめと
して、ガールスカウト日
本連盟青森県第十団、着
付けサークル四季彩、三
本木小学校音楽部、よさ
こいソーランの馬花道な
ど十一の団体にご協力的
いただきました。今後も実
行委員会の企画・実行力
に期待して支援すること
で、新成人にとって一生
の思い出となる魅力ある
式典となるよう目指して
まいりたいと考えていま
す。



一生の思い出となる成人式に

議員 策定中の地域公

共交通網形成計画は、現
在の交通計画が抱える課
題に対応し、将来にわた
り市民生活を支える持続
可能な公共交通体系の構
築を目指すものだ。短い
計画期間で目標を達成す
るためには、早期に取り
組んでいくことが重要と
考える。この計画を踏ま
えて、バスの待合環境の
整備はどう進められてい
くか。

企画財政部長 既存のバ

ス路線の待合環境の整備
はバス事業者が行いま
すが、多くの利用者が見込
まれる主要なバス停など
で整備を進める際には、
支援を検討し、待合環境
の改善を促進することに
します。

議員 新設される幼児

発達支援センターの取り
組みは。

健康福祉部長 保健セン

ターで、四月下旬から通
年で週四回運営し、養育
指導員や言語聴覚士等に
よる専門的な指導を実施
する予定です。幼児の特
徴に応じた個別指導、集
団適応への発達を促した
めの小集団指導、月一回
程度の保護者同士の交流
会や研修会の開催をしま
す。

高齢者運転免許証自主返納 複数年にわたる支援を 複数年は予定していない



久慈 年和
(市民連合クラブ)

議員 高齢者運転免許

証自主返納支援事業の平
成二十九年度の実績と今
後の支援は。

市長 平成二十九年度

から、自動車等の運転に
不安を持つ六十五歳以上
の高齢者に商品券やタク
シー券等を交付すること
で、運転免許の自主返納
を促す事業を実施してい
ます。今後は高齢者の交
通手段の拡充に努めると
ともに、事故予防の一助

として事業を継続してい
きます。

民生部長 二月末現在の

申請者数は百二十二名で、
六十代（六十五歳以上）
が八名、七十代が四三名、
八十代が六三名、九十代
が八名です。

議員 自主返納した人

に複数年の支援を。

民生部長 交通事故予防

のきっかけづくりという
観点から支援事業を実施
しているため、予定して
いません。

議員 平成三十一年度

までの総合戦略の計画期
間内に若者の定住促進を
図るため、給付型の奨学
金制度を創設する考えは。

教育部長 必要な財源の

確保や効果・継続性等に
課題があることや、総合
戦略策定時と国や県の状
況が変わってきたことか
ら、実施しない方向も含
めて検討しています。

議員 三本木霊園にお

ける今後の墓地造成の計
画は。

民生部長 平成二十八

年度から、募集区画数より
も利用決定者数が下回っ
ていることや、毎年度十
五区画程度の返還が見込
まれていることなどか
ら、新たな区画の造成計
画はありません。

議員 埋葬場所に墓標

として樹木を植える、ま
たは既存の樹木を墓標と
して周辺に埋葬する樹木
葬の施設を開設する考え
はないか。

民生部長 少数ですが合

葬墓の形で樹木葬を行っ
ている自治体があります
ので、調査研究したいと
考えています。



時代とともに変わる弔いの形



齊藤 重美
(自民公明クラブ)

青櫛取水口や黄瀬川取水口に 観光スポットに

整備を検討する予定はない

議員 十和田湖の青櫛取水口と、黄瀬川^{おうせがわ}の取水口を観光スポットとして整備しては。

観光商工部長 いずれも施設管理者に観光目的のために開放する考えがないことや、ルート^{ルートの}の安全性などの点から、整備を検討する予定はありません。

議員 観光客を増やすために、黄瀬川上流にある、日本の滝百選に選ばれている松見の滝までの道路を整備する考えは。また松見の滝から黄瀬沼、南八甲田山の乗鞍岳^{のりくらだけ}までの登山道を整備する考えは。

市長 自然景観を安全に楽しんでいただく上で遊歩道や登山道の整備・充実は大変な要素であるとして認識しています。しかし、安全への責任、事故

を防ぐための施設の維持補修、また管理体制や万が一の事故への補償の対応等を考えると、市が整備主体となることについては非常に慎重にならざるを得ず、いずれのルートも整備は難しいと考えています。



魅力を秘めた松見の滝

議員 東北電力と協議して、焼山の十和田発電所を観光スポットとして見学できるように検討しては。

観光商工部長 電力施設への立ち入りが必要となるため、東北電力では学習機会の提供のため、学校に限って、事前相談があれば係員をつけて発電開発の歴史や仕組みについての説明をしていることです。

議員 旧高清水駅付近交差点の工事終了後、交通量の増大が予想される工業高校、東小学校の丁字路交差点を十字路に改修し、稲生川を横断して大学通りまで市道を拡幅整備しては。

建設部長 交差点の形状については県等の関係機関と協議が必要となります。しかし、地域住民や地権者等の同意を得ることが困難なため、整備は非常に難しいと考えています。

食育のため「早寝早起き朝ごはん」をスローガンに 定着に向けて取り組んでいく



竹島 勝昭
(市民連合クラブ)

議員 乳幼児期と学齢期の食育の課題は。

健康福祉部長 三歳六カ月児の約四割が甘味飲料を頻回に摂取しており、バランスのよい食生活の推進が課題です。

教育部長 肥満傾向にある児童生徒の出現率が、全学年で全国平均を上回っていることから、肥満傾向の改善に成果が出ていないことです。

議員 文科省が国民運

動として推奨する「早寝早起き朝ごはん」のスローガンを全小中学校で統一して掲げ、目標値を持たせて取り組んでは。

健康福祉部長 第三次食育・地産地消推進計画の策定において、乳幼児期の食事内容や生活リズムの改善と、学齢期の肥満改善や朝食摂取率向上を目指し、取り組んでいきます。乳幼児期では、生活リズムや基本的な生活習慣の確立のため、「早寝早起き朝ごはん」の推進をスローガンに掲げ、これまで以上に保育所等の関係機関との連携を密にして取り組んでいきたいと考えています。

議員 ある保育園では、正しい食生活と遊びや運動を目いっぱいさせる保育を三カ月ぐらい続けたところ「朝晩の寝起きの時間が整った」「健康的な便が出る子が多くなった」「大きなけがをする子がいなくなった」「インフルエンザに罹患する子がほとんどいなくなった」という大きな成果を上げた。

議員 「早寝早起き朝ごはん」に特化し、毎日の基本的な生活リズムを整えることを実践することが結果的



食は生活の基盤

十和田湖温泉郷の経営状況は

楽観視できないが 伸びている部分もある



戸来 伝
(株の会)

議員 十和田湖温泉郷
全体の経営状況は。

観光商工部長 全体の調

査等を行っています。焼山・八甲田エリアの宿泊者数の推計値は、平成二十二年は約十三万三千人、震災があった二十三年は約九万五千人、二十九年は約十四万人です。温泉郷の宿泊施設数は、二十一年は十四軒でしたが、その後廃業四軒、開



魅力あふれる温泉郷に

業二軒あり、現在一軒が開業準備中です。近年は宿泊施設の営業コストが上昇し楽観視できませんが、外国人観光客の増加や地域事業者との連携等の期待できる話題もあり、市としても観光振興にさらに努めたいと思います。

議員 猿倉温泉からの引湯管更新の年次計画は、

観光商工部長 平成三十年度は引湯管の正確な総延長の測量、地権者情報把握と、概略設計として概算費用の算出やルート案の検討を予定しています。その後、更新事業の財源や受益者負担の考え方等の検討、地権者と

の協議等を行う必要があります。具体的な更新計画には時間を要すると考えています。

議員 温泉事業の源泉の提供者である猿倉温泉事業者との交渉状況は。

観光商工部長 直接お会いし、源泉使用料の据え置きにご理解をいただくよう情報交換等を行います。

議員 各地域の伝統芸能は、どんな課題を抱えているか。

教育部長 文化財として県指定二団体、市指定十三団体がありますが、共通して後継者の育成と維持費用の捻出が課題と伺っています。

議員 伝統芸能の傳承に対し、市や国はどのような支援をしているか。

教育部長 文化財に指定されている伝統芸能団体に①後継者育成の支援、②用具の補修・新調の支援、③記録作成の支援、④発表の場をふやす支援をしています。



氣田 量子
(自民公明クラブ)

議員 産前、子育て期のサポートは実現しているもので、産後ケアが確立すれば、切れ目のない子育て支援が完成する。産後ケアはどのように実施していくか。

健康福祉部長 育児ストレスや産後鬱等で子育てに強い不安や孤立感の最も強い産後一カ月から四カ月児健診までの間の訪問回数をふやし、保育士等が乳児の養育や育児に

産後ケアの実現で
切れ目のない子育て支援へ
平成三十年度から
新たな事業を実施したい

関する指導や助言を行う養育支援訪問事業を、平成三十年度から新たに実施したいと考えています。家事援助については民間事業者を紹介したいと考えています。

議員 地域包括支援センターが三カ所に増設されるが、どういったメリットがあるのか。

健康福祉部長 委託事業者からの企画提案では、場所が市民により身近になること、全てのセンターが土曜日も窓口を開設すること、平日の開設時間を延長するセンターもあることなど、利便性が向上するものと期待しています。

在の現金ベースでの決算見込みは赤字ですが、例年二、三月は収入が増加することから、黒字となるよう取り組みます。

議員 周産期医療と地域医療連携についてどう考えているか。

病院事業管理者 周産期医療は、産科医・小児科医の体制が整っていないので、地域の医療機関との連携や役割分担を進め、体制整備を図るための協議を重ねたいと考えています。

病院事務局長 地域医療

連携は、県地域医療構想に基づいて関係機関と相互連携していきたいと思っています。平成三十年度からは地域の介護施設等との連携、診療所との紹介、逆紹介率の向上のための連携を強化します。

議員 中央病院の現時点の経営状況は。

病院事務局長 一月末現



山端 博 (市民連合クラブ)

中心市街地の活性化に向け 民間との連携、協働を

各種事業者から事業提案を受けた

議員 次期中心市街地活性化基本計画の策定には民間との連携、協働が重要だ。民間事業所等からはどのような事業提案があったのか。

観光商工部長 説明会では十七事業者三十二名が参加し、最終的には建設事業者、不動産事業者、商店街等の四事業者から都市福祉施設の整備、街なか居住の推進、商業の活性化、公共交通の利便性向上といった国の認定要件に該当する七件の事業提案がありました。

議員 電柱の地中化についての基本的な考えは、
建設部長 建設コストが高額となることや、これまででは電気通信事業者への支援がなかったことから、事業実施が困難でしたが、国で着手している

電柱地中化促進に向けた制度整備に注視し、今後必要に応じて関係者と協議、検討したいと考えています。

議員 景観、防災の観点から、官庁街通りの玄関口といえるみちのく銀行旧稲生町支店周辺の整備を進めるにあたっては、電柱を埋設すべきだ。

企画財政部長 平成三十年

度度実施予定の中心市街地循環バス実証運行のデータを検証し、次期中心市街地活性化基本計画等の関連計画との整合性を図りながら施設整備の場所についても調査研究したいと考えています。



電柱地中化でスマートな中心市街地を

議員 路線バスや夜行バス、タクシー、コミュニティ

ニティバス等の乗り入れる交通の拠点となる場所がないため、市民にとっても観光客にとっても大変不便な状況だ。交通拠点施設について具体的に検討しているのか。

議員 旧亀屋跡地に商業施設と交通拠点施設が整備されれば、公共交通の利便性向上はもちろん、商店街の活性化にも大きな影響を与えると考える。次期中心市街地活性化基本計画の事業の一つとして、ぜひ具体的に検討してほしい。

病院長 収支を単純に試算すると十対一相

経営的観点から中央病院の 看護体制を見直しては 急性期病院として 現体制を維持したい



堰野端 展 雄 (自民公明クラブ)

議員 平成三十年度の診療報酬改定で、入院基本料の区分が再編された。

中央病院は、看護体制(※患者数と看護師数の比率の基準)七対一相当としているが、これでは多数の看護師の確保が必要となる。経営的観点から十対一相当に変更することを検討してはどうか。

議員 近年、高齢ドライバーのアクセルとブレーキのペダル踏み間違えによる交通事故が頻繁に起きています。最近はこの事故を防止するため、踏み間違え防止機能のあるペダル等、さまざまな技術が実用化されてきている。交通事故防止装置の購入に補助をしては、

当の方がいいのですが、上十三地域の中核的な急性期病院として七対一相当を維持しなければならぬと考えていますので、これらを含めてこれから検討していきます。



経営安定に向けた取り組みを

民生部長 全国的に事例が少ないことから、現時点での考えはありませんが、今後国や他の自治体の動向を注視しながら情報収集したいと考えています。

議員 景観法が制定されて十年以上が経過し、良好な景観に対する国民の関心は高まっているようだ。景観形成にかかわる市民活動の育成や支援、意識の高揚を図りながら、市民と行政の協働による魅力ある身近な景観づくりを推進するために、景観計画や景観地区、または景観条例等を定めるとはどうか。

市長 景観法では景観行政団体が計画や条例を定めることとなります。当市は景観行政団体ではないので、県の計画や条例に基づき景観の保全、形成に取り組んでいます。景観行政団体への移行については、必要性等を調査研究したいと考えています。

空き家対策の今後の対応は 空き家の解消に向け 積極的に取り組む



舩 甚 英文
(日本共産党)

隣家や道路に悪影響を及ぼしていることがある。立木等は、放置が不適切と認められる特定空家等の対象となるのか。

民生部長 国のガイドラインにより、立木の枝等が道路等にはみ出し、歩行者等の通行を妨げている状態にある場合は特定空家等の対象になると考えています。

議員 町内会や町内会連合会の位置づけは。

民生部長 町内会は、住民が相互の信頼と協力により、個人では対応できない地域の課題に取り組む共助組織であり、まちづくり推進の重要なパートナーと考えています。また、町内会活動の充実を支援する町内会連合会も同様に重要なパートナーです。

議員 町内会連合会等の外郭団体の事務を市の業務にする考えは。

民生部長 市では、各団体の事務は本来団体自身が行うべきとの考えから



ごみ集積場所の整備に支援を

事務局業務を市から各団体へ移行してきましたので、再び市の業務にする考えはありません。

議員 ごみ集積場所の準備は、町内会ではなく市がやるべきではないか。

民生部長 生活環境の保全のために、集積場所、ごみの分別やごみ出しのルール等を話し合うことは、住民同士の支え合いの基本であり、コミュニケーションを維持する上でも地域課題を地域で解決することが重要と考えています。しかし町内会の苦労は認識しているので、協力していきたいと考えています。



江 渡 信 貴
(自民公明クラブ)

産業振興に向けた 中心商店街との協議は

振興プランの策定を支援している

ています。

議員 産業振興のために中心商店街とどのように話し合いをしているか。

観光商工部長 中央商店街振興組合による中央商店街振興プランの実施計画の策定に対し、補助金の交付と助言を行っています。この計画により活性化が一層推進されることで、他の商店街にも波及することを期待しています。

議員 商店街の活性化には、交通手段のインフラ整備を進めて交流人口を増やす試みが重要だ。交通拠点の課題とその対策は。

企画財政部長 課題として、まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの形成、市の核を中心とした有機的なネットワークの形成が必要と考えています。各種計画との連携や整合を図り、中心市街地における公共交通の利便性向上のため、循環路線の導入や、交通拠点の設定に取り組むみたいと考えています。

議員 他の自治体では、消防団員の確保のため、事業所と協力して買い物割引等の優遇措置を団員や家族に提供している。商店街や飲食業協会等と連携して消防団員確保のPR活動をしては。

総務部長 消防団事務の委託先である消防本部を通して調査研究したいと考えています。

議員 商店街のハロウインは毎年にぎわいを増している。これからも継続して協力する考えは。

観光商工部長 広報やホームページによる市民への周知については引き続き協力していきます。イベント等の各種事業への支援は、次期中心市街地活性化基本計画の策定の過程で検討したいと考えて

議員 中心部の交流人口増加のため、市民や観光客が使いやすい環境を構築していただきたい。



地域の安心と安全を守る消防団

議員 空き家の敷地内に大きな木が茂っていて、



畑山 親弘
(市民連合クラブ)

DMOの活動とは

戦略的な観光地経営が可能に

議員 観光地経営に立脚し、稼ぐ力を引き出し、かじ取り役を担うというDMOの活動とは。

市長 昨年度からのDMO立ち上げに向けた取り組みにより、関係者と連携し、地域一体となった魅力的な観光商品、観光サービスが充実した観光地域づくりと、経営戦略に基づく一元的な情報発信、ビジョンの策定と実行をプロフェッショナルな視点で行うことが可能になると考えています。

議員 どのようなマーケティング調査をするのか。

観光商工部長 来訪者を対象に「どこから来たか」「どこに立ち寄ったか」「満足度はどうだったか」等をはかる調査と、不特定多数を対象に「当市の観光資源について知って

いるか」「どのようなものに関心があるか」等を把握する調査があります。

議員 点と点を結ぶための観光拠点が弱いと感じているが、市の考えは。

観光商工部長 既存の観光施設を発着点として周辺を観光できる旅行商品を企画、提供するなどソフト面の工夫が必要と考えています。

議員 市街地を循環するバスを考えているようですが、方法とコースは。

企画財政部長 今年七月から九月まで、中心市街地の主要拠点間を結ぶ中心市街地循環バスと、郊外地と中心市街地を結ぶ十和田湖支所シャトルバスを実証的に運行します。

議員 中小の農家が助け合う豊かな農村づくり



豊かな農村づくりを

三本木原開拓施設群を文化遺産に

稲生川の文化財指定を審議中



石橋 義雄
(自民公明クラブ)

があつてこそその農業であるべきだ。農協や市・県職員OB等の協力を得て、野菜づくりや販売、付加価値化など、多角的に支援する農業支援センターを設置してはどうか。

農林部長 現在、人・農地プランで、市、県、農協が一体となって地域や担い手に指導、助言を行っていているため、新たな支援体制を設置する考えには至っていません。

議員 稲生川上水の実現によつてなし遂げられた三本木原開拓に関して、近代都市計画の先駆けとも言われている市街地の町並み景観等を含めた三本木原開拓施設群を文化遺産として後世に残すべきではないか。

教育部長 現在、三本木原開拓の中心的な存在である稲生川の文化財指定について、文化財保護審



稲生川 先人たちの遺産を後世に

議会でも審議しています。その後にご提案の件について調査研究したいと考えています。

議員 人口が激減し、反して高齢者が激増することです生ずる行政運営の課題にしっかりと目を向け、取り組むべき課題を市民と行政が共有するため、十和田市版未来年表を作成してはどうか。

企画財政部長 将来を見据えた計画策定、戦略の構築には、未来予想データの活用は重要と認識していますが、非常に精度の高いデータと解析、活用等が求められることから、今後十分に調査研究を進めていきます。

議員 企業誘致に向けた畜産振興や農業振興の特区の選定等の考えは。

農林部長 畜産に係る食関連法等では、食の安全、安心の観点から、非常に高い環境と衛生基準が定められています。基準を緩和すると環境、人体、生命に著しい被害や危険を及ぼすことになるため、全国的にも畜産施策を集中的に行う特区はありません。農業振興では、県内には四市町村に酒類の製造や提供ができる特区があり、全国的には農地の権利移動の許可事務や企業の農地取得に係るものなどがあり、規制緩和事項は限定的なものとなっています。

議会運営委員会視察報告

平成三十年一月二十三日～二十五日

《埼玉県飯能市》

タブレット端末の導入について

飯能市では、平成二十四年度から議会でタブレット端末を導入し、本会議等での利用や、会議録の冊子の廃止等、紙資料の削減に取り組んでいます。紙の使用量は年間約十萬枚削減され、約二百十萬円の費用削減効果がありました。また議会内の情報伝達、各種資料の閲覧、先進事例の調査等も可能となり、事務の効率化や、政務調査活動



視察中の委員

の充実も図られています。視察では、議員一人ひとりが実際にタブレット端末に触れ、効果をより実感することができました。

《静岡県掛川市》

議会報告会について

掛川市議会では、議会活動や市政等の情報を市民と共有するため、議会報告会を開催しています。事前に決められたテーマについて作業部会で調査し、資料の作成とリハールを行います。終了後は、市民からの意見を取り入れ政策討論会を行い、市長への政策提言につなげます。毎年九カ所で開催され、参加者は約五百人と、市民の関心の高さがうかがえました。自分たちの住むまちを住みやすくするため、皆で意見を出しかかわろうとする市民の姿が、議員の活動を後押ししているように感じられました。

請 願 ・ 陳 情

採択となりました (※印は意見書も提出)

- ・ 農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願 ※
- ・ 収入保険ではなく戸別所得補償の復活を求め、果樹共済の「特定危険方式」を廃止しないことを求める請願 ※
- ・ 慎重な憲法論議を求める請願 ※
- ・ 政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める請願 ※
- ・ 市道古安鹿・清瀬線の舗装整備に関する請願
- ・ 米の生産費を償う価格下支え制度を求める請願 ※

新たに受理し、継続審査となりました

- ・ 「保育料の軽減」についての請願
- ・ 「5歳児健康診査」についての請願
- ・ 「老化に伴う保育所施設整備」についての請願
- ・ 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択についての請願
- ・ 種子法廃止に伴う万全の対策をもとめる請願
- ・ 十和田湖地区の公共施設の整備存続などに関する請願

継続審査

- ・ 治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める国への意見書提出についての請願
- ・ 若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情

常任委員会 所管事務調査報告

建設常任委員会「道路の排水処理について」

・ 集中豪雨の度に冠水する箇所があるため、町内会の要望等を踏まえながら計画的に整備している。
→計画的に排水流域図を作って対応してほしいと意見集約しました。

お知らせ

平成30年第2回定例会の開催予定

6月8日(金) 本会議(開会) 6月18日(月)、19日(火)、20日(水) 一般質問 6月22日(金) 本会議(閉会)

※各常任委員会の開催予定日は未定です。 日程は変更になる場合があります。

編集後記

この議会だよりが届く頃はお花見の季節になっていることでしょうか。春は待ち遠しいものです。冬の間眠っていた木々や草花が緑になり花を咲かせてくれます。今回の議会だよりは、新年度の予算を決める議会の様子のご報告です。一般質問の他に予算審議のために三日間を費やしています。その予算審議内容も掲載されていますので、お読みください。また予算審査特別委員会もお聴けますので、ぜひお出でください。議会の役割は、市民の声をきいて行政に生かすことだと思います。この議会だよりは、請願や陳情の結果などを含め、逆に議会から市民へ報告するものであります。(文責 舛甚英文)

議会だより編集委員会

- 委員長 江渡 信貴
- 副委員長 氣田 量子
- 委員 櫻田百合子
- 委員 齊藤 重美
- 委員 久慈 年和
- 委員 舛甚 英文
- 委員 赤石 継美
- 委員 畑山 親弘

市議会・市民との意見交換会

あなたの思い 受けとめます

ふだん感じていること、疑問に思っていることを話してみませんか。
お誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。

5月31日(木)午後7時から午後9時 (各会場同時開催)

藤島会館 (戸来伝・氣田量子・小村初彦・今泉勝博・石橋義雄・竹島勝昭)

立崎公民館 (織川貴司・山端博・江渡信貴・豊川泰市・野月忠見・工藤正廣)

深持ふれあいセンター (沢目正俊・櫻田百合子・舛甚英文・小川洋平・畑山親弘)

十和田湖公民館 (赤石継美・斉藤重美・久慈年和・堰野端展雄・田中重光)

内容：平成30年度の市の予算及び議会活動についての意見交換

※参加費、申し込みは不要です。



各会場とも駐車スペースが限られていますので、乗り合わせのご協力をお願いします。

詳しくは議会事務局まで (電話 51-6781)